



# 2019年度 須磨学園中学校入学試験

## 国 語

### 第 1 回

(注 意)

解答用紙は、この問題冊子の中央にはさんであります。まず、解答用紙を取り出して、受験番号シールを貼り、受験番号と氏名を記入しなさい。

1. すべての問題を解答しなさい。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 字数制限のある問題については、記号、句読点も1字と数えること。
4. 試験終了後、解答用紙のみ提出し、問題冊子は持ち帰りなさい。

須磨学園中学校

一 次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。

注1 包括的な謝罪を妨げているのは、自分のイメージを守ろうとする気持ちであると考えたシューマンは、ステイールによってテイショウされた自己肯定化理論に注目しました。

自己肯定化理論とは、人は「自己概念が脅威を受けると、自己を防御するために、その脅威に対処して自己の肯定性を回復するよりも、より広範囲で全般的な自己の統合性を確認しようとする」ことで脅威に対処しようとする「傾向があると仮定する理論のことです。

難しい定義なので例を挙げて説明すると、たとえば「あなたはケチだ」と言われたとします。これは、自己のプライドを脅かす言葉（脅威）ですが、「わたしはケチではない」と言い返したり、周りの人にプレゼントをばらまいてその脅威を消し去ろうとするのではなく、「わたしには堅実さとシツソを尊ぶ美德がある」や「わたしは忍耐強い」と、ほかの良いことに注目して自分が卑しいジピンではないというプライドを保とうとする傾向があるということです。

自分が道徳的で社会的に適切な人物であるとのイメージが揺らぎそうになると、自分に関連する、良いイメージのあるものについて考えることで全体としてのバランスをとり、脅かされた自己のイメージを再構成しようとするのです（ケチだと言われても、でもお金を貯めたおかげで大きな家に住んでいるし気にならない、とか）。

つまり、認めたくない嫌なことがあっても、自分にまつわる良いことを考えれば、自分について自信が持てるようになってバランスがとれるというわけです。しかも自己肯定感、自尊心のように安定した行動傾向（≡性格トクセイ）ではないので、ちよつとしたことで、簡単に変化させることができるのです。

そこでシューマンは自己肯定をすれば、謝罪によって傷つくプライドとバランスがとれるので、より良い謝罪ができるのではないかと考えました。彼の研究では、およそ一〇〇人の実験参加者が、自分では価値があると思うもの（車や家、時計）や性格（優しい、勇敢）を十一挙げて、順位をつけました。参加者のうち半数の人は、第一位のものや性格について、残りの半数の人は第九位となったものや性格について、なぜ自分はそれを価値があると思っているかを文章で書きました。

それから、いまだにわだかまりが残っている誰か（友人、恋人、家族など）を傷つけたことを思い出し、その人がいま隣にいて、自分には仲直りをするつもりがあると想像したとすれば、その人には何と申うかを書きました。

「 」

その結果、一番価値があるもの・性格について考えた人たちは、第九位のもの・性格について考えた人よりも、多くの望ましい要素を含んだ包括的な謝罪文を書いていました。そして、その人たちの文章には、悪い謝罪の要素も少なかったのです。細かく分析すると、その人たちの書いた文章には謝罪の核となる三つの要素が多く含まれており、自責の念も強く感じていました。

第二実験は、わだかまりについて思い出してから大事なものについて考えるという、先ほどとは逆の順序でおこなわれましたが、同じ結果になりました。つまり、自分にとって大事なことを考える順番は、先でも後でもよいのです。自己防衛がはじまる前に自己肯定する必要はなく、自己肯定はどのタイミングでも包括的な謝罪に有効だったのです。

社会で暮らすうえで他人と衝突することは避けて通れませんが、相手を傷つけたり怒らせたりしたときでも、うまく謝罪すれば、ことによれば以前より良い関係を構築できることもあるのです。

もし誰かに謝罪しなければならないときには、自分にとって大事なもの・性格・人物について想いを馳せ（たとえば自分の子どもや宝物）、なぜそれが自分にとってそんなに価値があるのかを考えると、謝るべき状況で、より建設的で包括的な謝罪をすることができるとでしょう。自己肯定の効果は思ったよりも強力なようです。

（川合伸幸「怒りを鎮める うまく謝る」による）

- 注1 包括的 …… 全体的。
- 注2 イメージ …… 心の中で思い描く姿。
- 注3 シューマン、ステイール …… ともに心理学者。
- 注4 自己概念 …… 自分が抱いている自身の全体像。
- 注5 プライド …… 誇り。自尊心。
- 注6 バランス …… つりあい。
- 注7 謝罪の核となる三つの要素 …… 筆者によれば「自責の念の表出」「責任の自覚」「補償の申し出」とされる。

一の設問

問一 「広範囲で全般的な自己の統合性を確認しようとする」  
（——線部ア）とはどういうことですか。その説明として最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 自分は、どんな場合も、全体的に強いことを確認すること。
- 2 欠点を見ずに、美德に注目することでプライドを保つこと。
- 3 短所を含んだ全体的な長所を確かめようとするということ。
- 4 自分は良い人だと、周りの人々と仲良くしようとする

問二 「謝罪によって傷つくプライドとバランスがとれる」

（——線部イ）とありますが、「謝罪によって傷つくプライド」と「バランスがとれる」のは、何ですか。その説明として最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 自己肯定することで、すんなり自信を取り戻すことができた自己。
- 2 相手に謝罪を受け入れてもらったことで感じられる人間的な成長。
- 3 相手に許されることで、自分の後ろめたさが解消し回復する誇り。
- 4 自己肯定によって、簡単に謝罪できるようになるための自信。

問三 ——線部ウの実験は、本文全体を踏まえると、どのような仮定が前提になっていると考えられますか。その説明として最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 半数ずつ、それぞれ分けて実験することによって、実験結果においては、より客観的かつ価値の高い成果が得られるのではないかということ。
- 2 より価値があるものを想像し、その理由を考えることによって、望ましい謝罪を促す、より高い自己肯定感がもたらされるのではないかということ。
- 3 全員に同じ条件下で実験しても意味のない結果が出るため、対極的な条件下で実験することで意味のある成果が得られるのではないかということ。
- 4 価値のあるものをただ挙げるだけでなく、その理由も書き記すことで、本当に納得のいった、より正確な結果が得られるのではないかということ。

問四 「エ」に入るのは、さまざまな謝罪要素です。次の

- ①～⑦に対応する具体的な例文を、後の1～7からそれぞれ一つずつ選び、番号で答えなさい。
- ① 自責の念      ② 責任の自覚      ③ 補償  
④ 容赦の懇願      ⑤ 正当化      ⑥ 弁解  
⑦ 矮小化

- 1 「約束を破ってしまい、本当に申し訳なく思います」
- 2 「どうか許してください」
- 3 「わたしはとても忙しくて、急いでいたのです」
- 4 「もしあなたを怒らせたとしたらお詫びいたします」
- 5 「申し訳なく思います」
- 6 「追い出したことは悪かったと思いますが、そうする理由があったのです」
- 7 「今週はかならずお電話いたします」

問五 「第二実験」——線部オ）を通して、筆者はどういう

ことを言おうとしているのだと考えられますか。その説明として最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 自分のイメージを守ることは、意味がないということ。
- 2 自分のイメージを守る前に自己肯定をしなくても良いということ。
- 3 自己肯定は、どんな時に行っても意味のある営みだということ。
- 4 謝罪前であれば、自己肯定はいつでも有効だということ。

問六 ——線部カと、その前文との間には、省略されている

常識的な前提があります。その前提内容を、——線部力につながるように三〇字以内で創作しなさい。ただし、解答は必ず読点で終わること。

問七 「自己肯定の効果は思ったよりも強力なようです」  
（——線部キ）とありますが、ここで「思ったよりも」とあるのはなぜですか。その理由の説明として最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 自己肯定の効果は、真の意味で相手に届くような、深い謝罪を促すものだから。
- 2 自己肯定の効果は、自分だけ得をするといった一般的な予想を越えるものだから。
- 3 自己肯定は、謝らねばならない状況で、より効果的な謝罪を可能にするから。
- 4 自己肯定は、自分に大切なものを気づかせ、相手にも誠意を伝えられるから。

問八 〰〰〰線部 a d のカタカナを漢字で答えなさい。

- a テイショウ
- b シツソ
- c ジンピン
- d トクセイ

二 次の文章は南木佳士「亡き父への手紙」の全文です。これを読んで、後の設問に答えなさい。

こうして書き始めようとして初めて気づいたのですが、生きていたときのあなたに手紙を出したことはなかったですね。小説やエッセイのなかでも、結核で逝った母や、その後子育ての親になってくれた祖母についてはくり返し書いているのに、生活の糧を稼いでくれたあなたに関してはひどく冷淡に扱ってききました。

群馬の山村に生まれ、東京で苦学して電気専門学校を出、競争に行き、肺結核の大手術を受け、ふるさとの生家の下の家に婿に入ったあなたは、電気技師として勤めていた鉱山が閉山になるとともに東京に行きましたね。あれは東京オリンピックの一年前でしたでしょうか。翌年、中学二年になったわたしも東京に出ました。あなたや新しい母と暮らしたかったのではなく、このまま田舎で老いてゆくのはいやだ、と痛切に感じたからです。

鉱山会社の本社に転勤したあなたは郊外の小さな社宅から二時間かけて通勤していましたね。乗り換え駅のホームでたばこに火をつけるとすぐ電車が入ってくるんだ、と言っていたあなたの趣味は麻雀とパチンコと、年に一、二回出かける海釣り。

酒は飲めなかったので、たまに酔って訪ねてくる社宅の同僚の話をいかにもおもしろくなさそうに聞いていましたね。

あなたと東京で暮らしたのは予備校までの六年間だけでしたが、組織の歯車としての都会のサラリーマンの生態を見せつけられ、なんでもいいからとにかく手に職をつけて、自分の好きな場所で生活できる大人になろう、とあなたを反面教師に仕立てあげました。

医者ならばどこでも食っていけるだろうから、と受験浪人の夏に本格的に医学部進学を決めたのは、都心に向かう電車の中でいつも腹が痛くなってしまう自分のからだのひ弱さを知ったゆえでもあります。からだ拒否反応を示す都会には住めないのだ、と骨身にしみて納得させられました。

あれから三十二年、信州の田舎町で暮らすようになって二十六年。田植えを終えたばかりの緑の田を見ながら自転車で数分の病院に通勤する途中、ふと、東京時代のあなたのことを思い出します。往復四時間かけて通った会社の庶務課であなたはどんな仕事をしていたのでしょう。家に帰っても、ほとんど口をきかない息子と、無愛想な妻がいるだけの生活。駅の立ち食いそばですすむことの多かった夕食。定年を一年後にひかえた五十四歳での脳梗塞発作。

あなたの発病した歳に近づいているきょうこのごろ、休日に

山を歩けたり、家の前の畑で採れたトマトをもらってとびきりうまいパスタを食べたりできる平凡な幸せをなによりもありがたく思います。

リハビリを終え、定年して田舎に帰ったあなたはゆっくり畑を耕す間もなく、脳梗塞の再発作にみまわれ、リウマチも発病して十年近く寝たきりになったまま逝ってしまいました。

身近にそんなあなたを見てきたせいかわたしは、五十歳を過ぎたらやりたいと思ったことはすぐやることに決め、水泳や登山を始めました。日曜の朝、北八ヶ岳の針葉樹林のなかを登ってゆくと、木々の放つさわやかな薫りが全身の毛穴にしみとおります。

あなたと登りたかった、などと見えすいたうそはつきませんが、あなたが都会で働いて仕送りしてくれた金で学校を出、いまのわたしがあります。だから、都会で疲れ果てたあなたに申しわけなくて、田舎での生活を賛美する気にはなれません。わたしはたまたまこのようにしか生きられなかったのですから。

人づき合いの苦手だったあなたが都会でしか生きられなかったのとおなじように。

注1 エッセイ……思いのままに書き綴った文章作品。随筆。

注2 結核……結核菌による肺の病気。一時期は「死の病」

であった。

注3 予備校……大学などの入学試験のための教育機関。

注4 庶務課……さまざまな事務を行う部署。

注5 脳梗塞……脳の血管がつまる重い病気。

注6 リウマチ……骨・関節・筋肉に痛みを生じる病気。

注7 八ヶ岳……長野県と山梨県にまたがる山。



二の設問

問一 〜〜線部a〜cの本文中における意味として最も適当なものを、後からそれぞれ一つずつ選び、番号で答えなさい。

- a 痛切に
- 1 強く
  - 2 痛々しく
  - 3 真剣に
  - 4 切なく
- b 無愛想な
- 1 愛情がない
  - 2 不満足な
  - 3 不安そうな
  - 4 そっけない
- c 平凡な
- 1 身近な
  - 2 ありふれた
  - 3 価値のない
  - 4 並でない

問二 「ひどく冷淡に扱ってきました」(——線部ア)とありますが、ここでの表現を通した、筆者の父親に対する想いの説明として、最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 母や祖母は作品にも何度も書いたが、父親には手紙さえ書いたことはなかった。
- 2 自分の身近にいた母や祖母と比べ、家族を放って働いている父親を憎んでいた。
- 3 自分の生活費を稼いでくれたことは感謝しているが、父親にはなじめなかった。
- 4 いつも筆者のために働いてくれた父親に対する愛情を、素直には表せなかった。

問三 「あなたの趣味は麻雀とパチンコと、年に一、二回出かける海釣り」(——線部イ)という表現を通して、筆者はどういうことを言おうとしているのですか。その説明として最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 筆者の父親には、趣味だと言えるような趣味はなかったということ。
- 2 筆者の父親にも、仕事を忘れられる楽しい趣味はあったということ。
- 3 筆者の父親にも、休日には気分転換できる趣味はあったということ。
- 4 筆者の父親は、趣味にふける間もなく、仕事をしていくということ。

問四 「あなたを反面教師に仕立てあげました」(——線部ウ)とはどういうことですか。その説明として最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 会社組織の一員として仕事に疲れ切った父親を、つまらない人生を送っていると思い、見習いたくないと思ったということ。
- 2 仕事ばかりの父親のようにはなりたくないと思い、手に職をつけて、好きな場所で暮らせる大人になろうと思ったということ。
- 3 みじめな生活を送る父親とは対照的に、自分はいつか理想的な生活を送れるように、受験勉強を頑張ろうと思ったということ。
- 4 家族のために必死に働く父親を、住む場所も自由に選べない、会社の言いなりの存在だとあえて思い込もうとしたということ。

問五 「東京時代のあなたのことを思い出します」(——線部エ)とありますが、筆者は父親のことをどのように思い出していますか。その説明として最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 東京でせわしなく仕事ばかりしていた父親とは違って、自分は田舎で何不自由なく穏やかな生活を送ることができていることに満ち足りた気持ちで父親の生活を思い出している。
- 2 東京では何一つ楽しいことがなかった父親の稼ぎのおかげで、自分の今の穏やかな生活があることに思い至り、自分自身を強く責める気持ちになって父親のことを思い出している。
- 3 人生の大半を会社のために費やし、家族からは疎まれ、退職後の余生さえ楽しむことができず、父親の生活は何一つ良いところがなかったのではないかと痛ましく思い出している。
- 4 会社の行き帰りに長時間を費やし、会社では専門的な仕事をするわけでもなく、家族にも寄りつかれない生活で、何を支えに仕事に励んでいたのだらうと不思議に思い出している。

二の設問は裏面に続く

問六 「わたしはたまたまこのようにしか生きられなかった」

(——線部オ) について、

- ① 「このようにしか生きられなかった」のはなぜですか。本文全体の内容を踏まえて、二〇字以内で答えなさい。

- ② この表現に込められた父親に対する筆者の想いを、

——線部も参考にしながら、一〇〇字以上二二〇字以内で説明しなさい。(句読点も一字として数えます。なお、採点については、どういう書かれ方をしていくかについても見ます。)

↓ここにシールを貼ってください↓



受験番号			

氏名	
----	--

## 2019年度 須磨学園中学校 第1回入学試験解答用紙 国語

(※の欄には、何も記入してはいけません)

※	※	※	※	※	※	※	※
問八	問七	問六	問五	問四	問三	問二	問一
c   a				⑦   ④   ①			
d   b				⑤   ②			
				⑥   ③			
		30   20   10					



※



※	※
問六	問五   問四   問三   問二   問一
②	①
a	b
c	
120   110   100   90   80   70   60   50   40   30   20   10   20   10	



※

※